

総合的な学習の時間（あさひのプロジェクト）

◎佐々木 清花 ○村田 茜 小林 輝紀 牧島 司

1 目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

2 全校研究テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成

3 総合的な学習の時間における「新たな価値を創造できる資質・能力」の捉え

ア 問題発見・解決能力 各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと	イ 批判的思考力 多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと	ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力 自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとする力
日常生活や社会に目を向けて、そこから湧き上がってくる疑問や関心に基づいて自ら課題を見つけ、探求のプロセスを繰り返しながら豊かに学習すること。	課題に対して、多様な角度から俯瞰して捉えながら、自らの知識や技能等を総合的に働かせて、目前の具体的な課題に粘り強く対処し、解決しようとする。	探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自己の生き方を考え、積極的に社会参画しようとする。

4 総合的な学習の時間における全校研究テーマの受け止め

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）総合的な学習の時間の目標には、「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。」と示されている。これらの資質・能力を育成するために実社会の諸課題の解決に向けて、デザイン思考を用いて自分のできる実践を行い、自己の生き方を考えることが必要だと考える。

そこで、デザイン思考の過程の中で、地域の方や企業と関わったり、自分のできる小さな実践を繰り返し行ったりしながら、社会貢献につながる大きな実践へと進んでいく学習を構想する。このようにすることで、実社会における自分の可能性や価値を認識し、社会に生かそうとする意欲が高まると考えた。

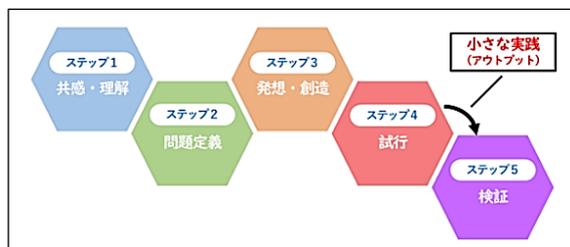


図1 デザイン思考と小さな実践（アウトプット）

以上のことから、「学習指導要領」の具現と「新たな価値を創造できる資質・能力」を育成するために、令和5年度の総合的な学習の時間の研究テーマを以下のように設定した。

5 令和5年度 総合的な学習の時間の研究テーマ

自分の可能性や価値を認識し、社会に生かそうとする意欲を高める学習の在り方